

「地図豆」の地図を広げて街歩き

51-1 人形町・佃島食べ歩き？（約7.0km）

人形町の今と昔を確認しつつ、食べ歩きも楽しみながら佃島・月島まで歩く。

【道順】

東京メトロ人形町駅→人形町界限（竈河岸、甘酒横丁のたい焼き、水天宮あたりの人形焼きほか）→霊岸島水位観測所→中央大橋→佃島界限（佃島の佃煮、月島のもんじゃ）→それでも足りない人は築地へどうぞ！

ルートマップ（水路入り）



【街歩き解説】

明治期と現在の地図を広げて、昔探しをしながら人形町を歩く。川や堀の跡は、今どうなっているか？ 武家屋敷の跡は、今どうなっているか？ 神社やお寺はどうなっているか？ 何が残っていて、何が残っていなかったらどうかと考えながら。

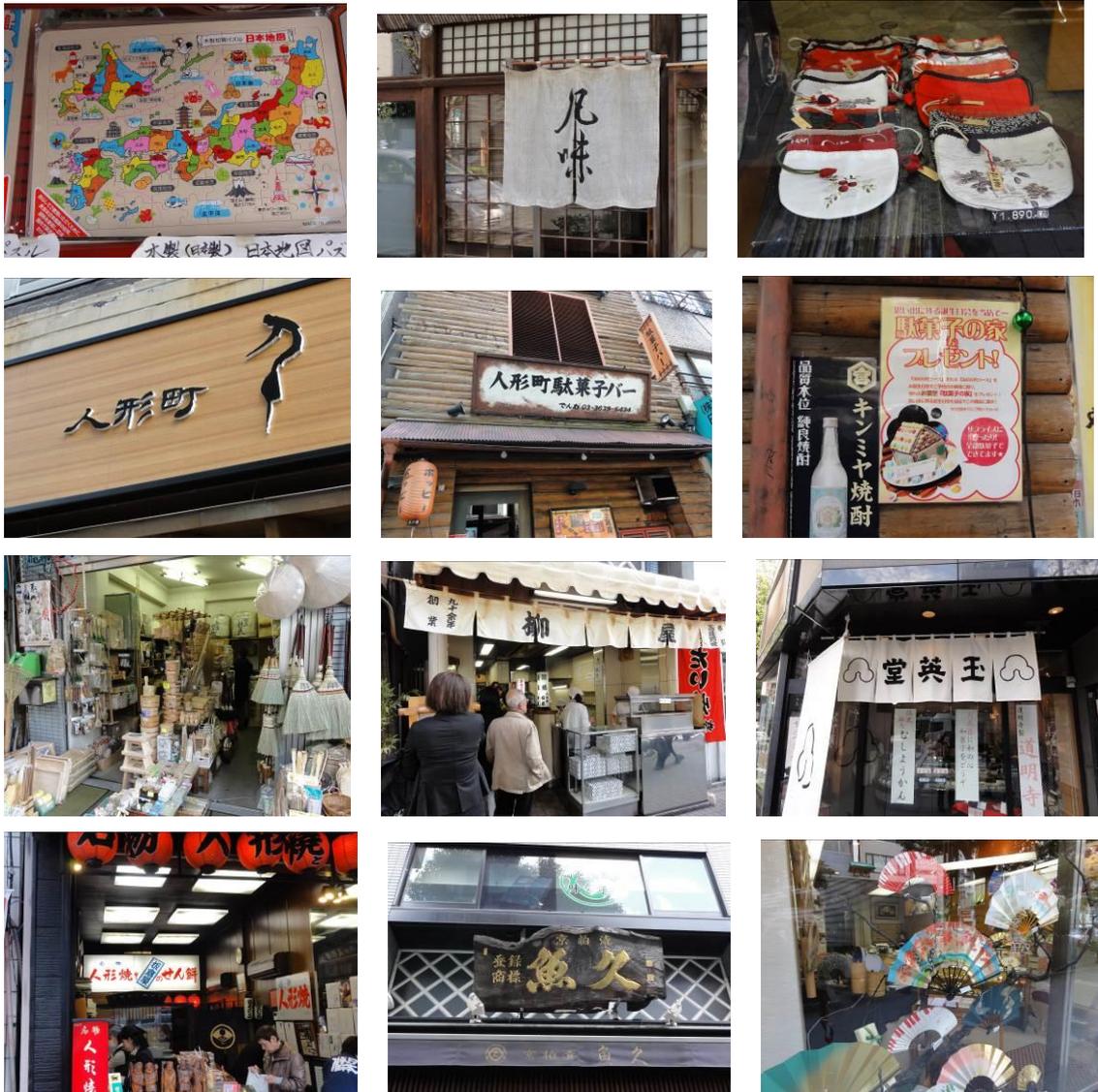
そして、むかし探しもほどほどに、明治時代に甘酒を商う店があったことから名づけられたという、人形町甘酒横丁の看板に一つうなずきながら散策する。



- ・ 器の「京雅堂」
- ・ 割烹「太田」の軒下には洒落たオートバイが
- ・ パワーストーンの「ペリドット」の店先にあった、猫の形のプリザードフラワー？
- ・ 小さなお地蔵さんは、いつからいるのだろうか？
- ・ 「鯨と海と人形町の碑」のそばで！ 文楽人形には、今も昔も鯨のひげが使われている



- ・ 谷崎潤一郎生誕の地近くには、「幻の羊羹細雪」（看板だけ）と肉料理の「谷崎」がある
- ・ 昼時、親子丼の「玉ひで」前はいつも行列！
- ・ コーヒーの快生軒で熟年者は生き返る？ 入り口ドアにも木製の看板が下がる
- ・ 佃煮の「ちとせ屋」のむらさき花豆は絶品だとか
- ・ 香ばしい匂いをふりまく、お茶の「森の園」の文字もいい感じ
- ・ 「元祖あま酒『双葉』」とある、とうふの双葉の看板は、ビルの上！
- ・ 焼き鳥と卵焼きで有名な「鳥忠」
- ・ 芝居見物に欠かせない弁当の「関山」の文字はいい



- ・人気の「ゆうま」の店先に地図のジクソー発見！
- ・風味溢れる「風味」の暖簾？
- ・染と織の錦屋さんの店頭で袋もの
- ・「駄菓子バー」では、お酒のおつまみには何が出てくるのでしょうか？
- ・戸田屋には昔懐かしい箒や桶が並ぶ
- ・店内に行列ができる人気の鯛焼きも、ここまで来ると？
- ・京菓子の玉英堂のショーウィンドウには、擬宝珠が見えましたが、どうしたのでしょうか？
- ・人形町といえば、やっぱり人形焼き
- ・人形町には京〇〇が多くある、京粕漬の「魚久」もその一つ
- ・京扇子の店も多くある、「京扇堂」



- ・ すき焼きと肉の「日山」は、建物調和した看板が軒に下がる
- ・ 京漬物の「近為」のウインドーには、まっ白な千枚漬けがある
- ・ 和菓子の千鳥屋の看板は店内にあって、寛永7年（1630）創業
- ・ 大観音寺は人工地盤の上にあって、下の路地には今は珍しい井戸があり、あたりには、その昔竈河岸と呼ばれる堀があって、歓楽街だった。その名残だろう、風情あふれる小路には、割烹料理の店が並ぶ
- ・ 水天宮の門前町として栄えたころの人形町とからくり時計が迎えてくれる現在の人形町

**** オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu